

国際部会

エール大学 ア・カペラ女声合唱演奏会

国6-国 黒田 宏

6月14日のエール大学ア・カペラ女声合唱団 Whim 'n Rythm による演奏会は、主催者としての反省点多々ありますが総体的に成功裡に終えることができたのはグループ“わ”や在校生の英語クラブ、クッキーの会その他大勢の皆様のご支援とご協力の賜物と感謝しています。



▲演奏中の合唱団



▲KSC男声合唱団と共演で「蛍の光」を歌う

この催しに最終的なゴーサインが出たのが5月10日過ぎで、初めての打ち合わせが5月21日に開かれるという極めて厳しい日程の中でのスタートでした。その後もエール大学側のコーディネーターとの連絡がスムーズでなく、メールによる直接交渉に切り替えて何とか進めることができるようになりました。

一般的には演奏会の前日までに Dress Rehearsal 等を実施してプログラムの再確認等を行うのが通常ですが、日程上そんな余裕はなく、当日開演2時間前にごく簡単に打ち合わせを行ったのみでスタートした現状を考えればまずまずではなかっただろうかと考えています。

演奏についてはさすがで、世界的に著名なエールの名声を合唱部門へ



▲やはり今時の娘さん、ドレスのまま床に
じか坐りして銭太鼓を楽しむ



▲はっぴを着せて貰ってハッピー！



▲指揮者のアリソン・ケーゲルさん

へにおいても裏付ける素晴らしいハーモニーでした。一般的に女声コーラスは低音部が男声より弱いのでハーモニーし難いと言われていますが、基本を押えた歌いぶりは見事なものでした。一人一人がソロで歌える実力を有しており、ジャンルも得意なジャズが中心であったので彼女達も楽しみながら歌っていたようでした。

心配であった交流会もカレッジ側の学生もエールの学生も和やかにお互いにエールを交換していたのではないのでしょうか。英語の得意な人もそうでない人も皆が会話を楽しんでいたようでした。14人のメンバーがそれぞれ中心になってあちこちで輪ができ、話が弾んでいました。

入場者から頂いたカンパ総額は16万5千円に達し、全額を合唱団に渡しました。種々困難なこともありましたが成功裡に終わったことはすべて在校生と卒業生のチームワークの成果と確信しています。